



官学連携 デジタル技術を使って文化財のレプリカを作成



市指定有形文化財「子馬形埴輪」(実物)



作成した子馬形埴輪レプリカ(彩色後)

概要説明

四條畷市指定有形文化財の「子馬形埴輪」。大阪電気通信大学との官学連携により、デジタル技術を使って3Dプリンターで造形したレプリカを作成しました！

大阪府四條畷市は、大阪電気通信大学と結んでいる包括連携協定の一環として実施している同学授業「社会プロジェクト実習」への協力の中で、官学連携してデジタル技術を使った文化財の3Dデータ作成およびレプリカの作成に取り組み、この度同学から市へ寄贈を受けるにあたり、贈呈式を実施します。

贈呈式 令和6年1月10日(水) 11時~12時 四條畷市役所 本館2階ミーティングルーム
出席者：大阪電気通信大学 学長 塩田 邦成 様
四條畷市長 東 修平、四條畷市教育委員会 教育長 植田 篤司

四條畷市は、古墳時代中期に日本でも初期の馬の飼育がおこなわれた場所で、市内の遺跡からは馬の飼育にかかわる資料が多く見つかっています。子馬形埴輪(忍ヶ丘駅前遺跡出土)と馬形埴輪(^{みなみさげ}南山下遺跡出土)はその一つで、近年国内外で注目され展示会への出品が多く、四條畷市立歴史民俗資料館での展示日数が減少していました。

その課題解決のため、大阪電気通信大学総合情報学部の授業「社会プロジェクト実習」への協力の中で、子馬形埴輪と馬形埴輪の3Dデータ撮影、および子馬形埴輪の3D造形レプリカの作成を同学の機材を使っておこないました。今回、完成したレプリカと、撮影した3Dデータを同学から寄贈いただきます。四條畷市では、完成したレプリカや3Dデータを、四條畷市立歴史民俗資料館での展示や市内小中学校の学習などに活用していきます。

問い合わせ

電話 072-877-2121 (代)

スポーツ・文化財振興課 担当：實盛(じつもり)良彦(内線860)